

屋代高等学校附属中学校 オーストラリア研修5日目 報告書

あっという間に現地校生活最終日がやってきました。初日は英語漬けの時間が長く感じ、このスケジュールが4日間続くのはつらい…と漏らしていた生徒も、もう終わってしまう！と焦りの方が強くなっていました。最初は驚きや戸惑いの多かった現地校の学校生活も、今ではすっかり順応しており、最後と言う実感がわからない、来週もここにいそう、と言う声もちらほら。

現地校のスケジュールは、モーニングティーの前に2コマ、後に1コマの3コマが午前中にあり、その後ランチを挟み、午後に1コマの全4コマとなっており、2コマずつ現地校の授業参加と English Culture クラスを行ってきました。モーニングティーとランチは基本的にバディやその友達と一緒に過ごしているのですが、今日は最終日と言うことでフェアウェル（送別会・お別れ）ランチが準備されていました。先生方がオーグースタイルのバーベキュー（パンにソーセージを挟んだもの）をしてくれ、振る舞ってくれたのです。“Good by Yashiro Students”と書かれたケーキもあり、皆感激すると同時に別れの時が近づいていることを感じます。グループによってはこのランチでバディと会えなくなってしまうので、写真を撮ったり、今まで渡せなかったお土産を渡したりといつも以上に忙しく交流していました。現地の先生によれば、コロナ後しばらく外国人の団体受け入れもストップしていたため、こういった交流は現地の生徒にとっても貴重なもので、バディになりたいと言う生徒が多くいたと言うことです。今日廊下を歩いていると、来てくれてありがとう！また会いたいね！と声をかけてきてくれる生徒もいました。日本に帰ってからも一緒にゲームをする約束をしたり、連絡先を渡したりもしていたので、今後も続く交流を願っています。別れ際には何度もありがとうと言い固くハグをしたり、最後の最後でついに一緒に写真撮っていい？と言うことができ、2ショットを撮るなど、間際まで別れを惜しんでいました。欠席もあり、初日以降一貫して同じバディとは限らず、お土産を渡したかった生徒に会えないという事態も発生していましたが、一期一会、その時にできることをしないと次はないと言うことを身をもって実感することになったのではないかと思います。

Kahli 先生による English Culture クラスも今日が最終回。毎回オーストラリアにまつわる知識や情報を教えてくれ、それはその日のホストファミリーとの話題になるトピックでした。オーストラリアの文化や歴史についても学ぶ機会になり、徐々にリラックスして授業に参加できるようになっていきました。初日は出欠を取るときに思わず「はい！」と返事をしていたものですが、気づけば「Yes!」「I'm here」と自然と答えるようになりました。現地校でのクラスが全て終わると最後に Kahli 先生から修了証が渡され、皆充実感に溢れた顔で受け取りました。



今日も白熱したバスケ対決



最後の授業後に



オーギー流 BBQ！



スペシャルケーキも



修了証書と共に